

◎間もなく1学期終了

7月に入り、前期課程・後期課程とも1学期のまとめの月となり、確認テストや期末テストなどが行われています。今年度はコロナが感染法上5類となり、学校を離れての勉強が多くなりました。「百聞は一見にしかず」という言葉があります。意味は「聞いただけで分かった気にならず、実際に自分の足で現地に出向き、自分の目を見て確かめることが大切である」という意味です。学校では1年間でたくさんのことを学びますが、すべて体験することはできません。夏休みには自分の目を見て確かめる機会となることがたくさんあると思います。それがあどき習ったことかとは気づかないことの方が多くは多いとは思いますが、いろいろな体験をしてこれまで学んだことが自分の力となるようにしてほしいです。

大半の後期課程の生徒はオーストラリアへホームステイに行きます。これまで調べてきたこと、また、習ってきた英語を現地で試す貴重な機会です。失敗を恐れずいろんなことにトライし有意義なホームステイにしてほしいです。

2学期は行事の多い学期です。2学期もたくさんの行事を通して、みなさんが成長し活躍した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

◎お友達が増えました

6月5日(月)から、2年生と4年生に兄弟が転校してきました。ふたりは東京の児童数およそ850人という大きな学校から来ました。お父さんがすでに下北山村で働いておられることもあり、今年の夏休みに下北山村で過ごしていたようです。本校の児童生徒数は30人。学年が違ってそのときの顔見知りの方がすぐに見つかったようで、少し安心したのではないのでしょうか？後期課程の生徒も含めお互い下北山村のこと東京での生活などいろんな話をして新鮮な情報を得てほしいです。



◎プール開き

去年は児童生徒・教職員でプール掃除をしましたが、今年は業者をお願いしました。作業中の怪我や熱中症を気にすることも少なく、また、掃除の準備や後片付けをする必要もなく、授業に専念することもできました。



19日(月)から水泳の授業が始まりました。その日は天気が良くプール日和となり、午前中に後期課程、午後

に前期課程がプールに入りました。プールに入る前のシャワーでは「冷たい」などの声がたくさん聞こえてきましたが、プールに入ると先生の指示に従って、みんなで一斉に同じ方向に歩いて大波をつくったりと授業を楽しんでいました。でも、この日以降は梅雨空が続きます。登校時には「今日はプールに入れますか？」という声も良く聞きます。沖縄は梅雨明けをしました。7月にはたくさんプールに入れることを願っています。

7月行事予定